

## 令和7年度本試験の得点から考える、TACの講座選択

例年ですと、300点満点中、全体で5割程度の実力があるかどうか、140～150点以上得点できているかどうかが、受験経験者クラスか、基礎クラスかの選択の目安となります。

ただし、今年度は、記述式問題が比較的難しかったので、記述式を除きます。逆に、基礎知識が易しかったので、基礎知識の得点も除いて考えます。その上で、コース選択をする場合の目安ですが、法令択一と法令多肢の合計点で5割の得点ができているかどうかを考えます。記述式と基礎知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中80点以上）と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点184点で5割程度（90点程度）を超えているかどうかを一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

### **【法令択一＋法令多肢 マークシート問題による目安】**

<b>法令択一40問 (160点)</b>		<b>法令多肢12空欄 (24点)</b>	<b>合計184点満点</b>
20問以上+6空欄以上 = およそ92点以上		答練本科生S 答練本科生A	
20問未満+6空欄未満 = およそ92点未満		プレミアム本科生	

※法令記述式については、ヤマが当たったなど、「紛れ」がありますので、一概に、「記述式で得点できているから受験経験者」、「記述式で得点できていないから基礎クラス」ということにはなりません。記述式の一つの目安としては、問題44は基本問題でしたので、この問題で12点程度の得点と、問題46も「事務管理」というキーワードを書ければ10点と、問題44・46の合計40点満点中22点以上得点できていたかどうか。22点以上であれば、答練本科生、それ未満ならプレミアム本科生がお勧めです。

### **【参考・法令記述問題による目安】**

<b>法令記述 問題44・46の2問 (40点)</b>	
問題44・46 = 2問の合計22点以上	答練本科生S 答練本科生A
問題44・46 = 2問の合計22点未満	プレミアム本科生

以 上